

「消費動向調査（全国、月次）」の調査方法変更に伴う
景気動向指数（先行指数）利用上の注意について

平成 19 年 5 月 18 日
内閣府経済社会総合研究所
景気統計部

景気動向指数では、内閣府「消費動向調査（全国、月次）」の消費者態度指数を先行系列として採用している。同調査は、平成 19 年 4 月実施調査結果（5 月 16 日公表）より、調査方法を従前の訪問留置調査（6、9、12 及び 3 月）及び電話調査（それ以外の月）から毎月 1 回年 12 回の訪問留置調査へと変更した。

景気動向指数（D I）は、採用系列の値を 3 ヶ月前と比較して変化方向を求めるため、平成 19 年 4 月分及び 5 月分の消費者態度指数は、調査方法の異なるデータを比較対象として用いることになる。

消費動向調査は、訪問留置調査に比べ、電話調査による調査結果が高めに出る傾向があったため、平成 19 年 4 月及び 5 月の 3 ヶ月前差には調査方法の違いによる下方バイアスが生じる可能性がある。このため、景気動向指数 4 月分及び 5 月分の先行指数（D I）を利用する際には、注意を要する。